

●演習ワークシート

演習日： 月 日

研修生番号：

研修生氏名：

事例 1

症例：75 歳，男性

頻繁に通院は困難。

血管肉腫で，外来通院治療センターでパクリタキセルにて治療中である。

パクリタキセルの血管外漏出がみられた。

意識	血圧	SpO ₂	心拍数
清明	130/80mmHg	98%	17 回/分

演習課題 1

特定行為を行うときに確認すべき事項と基準は満たしているか検討して記述してください。

演習課題 2

担当医に連絡すべき漏出部位の症状にはどんなものがあるでしょうか。列挙してください。

●演習ワークシート

事例 1 続き

紫斑や潰瘍形成はない。
疼痛は軽度。
腫脹と発赤がはっきりしてきた。



演習課題 3

診療の補助ができるかどうか、またその内容について記述してください。

●演習ワークシート

事例 2

症例：18 歳，女性

上肢原発横紋筋肉腫に対し，VAC 療法で治療中．

治療中はやや痛みを感じたがそのまま完遂．2 日後腫脹，発赤，に気づいた．疼痛はないが主科再診し，皮膚科コンサルとなった．

腫脹，発赤あり．疼痛なし．



演習課題 4

特定行為の対象となるか検討してください．また，どの薬剤に注意すべきかについて記述してください．

事例 2 続き

血管外漏出したとすれば，ビンクリスチンかシクロフォスファミドであることがわかった．

演習課題 5

対応はどのようにすればよいか記述してください．

●演習ワークシート

事例 3

症例：68 歳，男性

左足底悪性黒色腫で初回手術の術後ダカルバジン投与された既往あり。

肝転移，肺転移出現し，ニボルマブ（オプジーボ™）で治療中。

血管外漏出を心配したご本人から申告あり。
点滴のスピードが遅くなり，軽度の発赤に気づいた。



意識	血圧	SpO ₂	心拍数
清明	115/85mmHg	97%	16 回/分

演習課題 6

特定行為を行うときに確認すべき事項と基準は満たしているか検討してください。

演習課題 7

担当医に連絡すべき漏出部位の症状にはどんなものがあるでしょうか。

演習課題 8

その後の適切な対応を述べてください。